

宇仁幼稚園の子ども達



幼稚園とは随分縁の遠くなった私が、久しぶりに所用で園にお邪魔しました。外へ出る子の中で 1 人帽子を裏に着ている子、「どうして？」と聞くと体調が悪いので判りやすくするためとの事。トイレに行く子を担任ではない先生が「〇〇ちゃん大丈夫？」と聞き、園内の畑やトマトの手入れに、おじいちゃんおばあちゃんが世話に来てくださっていました。



ところが皆さん知っていますか!!! 幼稚園が泉中学校の近くに、**泉校区 1 園の統合案**が出ています!!

宇仁に**幼稚園**と**小学校**があるから、“若い人達が宇仁に住もうと思い帰ってきたのに”、そのお母さんたちに負担少なく働ける環境の確保が出来ない状況が起ころうとしています。これはおかしいですね。

- ・マンモス化して園児たちへのきめ細かい指導が期待できない
- ・仕事に行くのに遠くなり送迎に負担がかかる
- ・送迎エリアが混雑して事故が発生する危険性大
- ・運動会、サツマイモまつり、よさこいの練習など小学生との交流が無くなる

幼稚園が宇仁から無くなるのなら仕事先の他市の幼稚園に預けたい。近くの他市に移住するかもしれない。とお母さんたちが大変困っています。統合は絶対反対!!! と悲鳴をあげています。 (一住民の呟き)

久方振りの預かり保育

7 月 1 日宇仁小学校参観日の学級懇談・地区別懇談のあいだ、27 人の子ども達は旧宇仁幼稚園へ帰って来ました。常峰八郎さんが鈴虫の赤ちゃんを持って来られ、1 班は飼育箱への移動と飼育方法を教わる子ども達、2 班は勉強する子ども達とに分かれて 2 時間を楽しく過ごしました。



鈴虫の赤ちゃんは、それはとっても小っちゃくて飼育箱への移動が大変でした。鈴虫の赤ちゃん達は、今宇仁小学校で暮らしています。

“早く大きくなって、音色が校舎の中に響きますように!!” (子育て支援センター)

木のぬくもり “スプーンづくり”

(参加者の声)

- * 今日は有難うございました。普段はなかなか経験できないことが、出来て楽しかったです。リフレッシュ出来ました。娘は泣いてばかりですみませんでした。懲りずにまた参加させてください。
- * お世話になりました。あっと言う間の時間を過ごせました。子どももすごく遊んで満足いっぱい、お昼寝もいっぱいしました。スプーンも気に入って、早速夜ご飯に使っていました。アリガトウ!!



- * なかなかこんな機会がないので、貴重な時間を過ごせました。皆さん優しく話やすく楽しかったー。甘えん坊の息子を長い時間抱っこしてもらい有難うございます。スタッフの方に“感謝 感謝”

(子育てほっとトーク)

宇仁・日吉交流グラウンドゴルフ大会

7月8日午前9時より、青野運動公苑グラウンド・ゴルフ場で「29年交流グラウンドゴルフ大会」を開催しました。梅雨の晴れ間の天気にも恵まれた当日、76人(うち宇仁地区39人)の参加がありました。「赤」「青」「緑」の青々とした芝生コースでのプレーが初めての人も多くいました。難所は「緑コース」でした。急斜面上にゴールポストが設定してあったり、芝目がきつく、強く打ってもなかなかゴールに近づいてくれないコースもあって、皆大変苦労していました。しかしワイワイと会話しながら、いい汗をかいて懸命に3コースを回りました。そして、美しいアオノのコースを楽しみました。

今年の開催担当は「スポーツクラブ21日吉」でした。多数の参加者で大変だったと思いますが、スムーズな運営で気持ちよく大会を終了することができました。



(スポーツクラブ21部会)

スポーツクラブ21の紹介～ヨーガクラブ～

一緒にヨガしてみませんか！◎仕事で疲れた身体を、ヨーガでほぐすと気分爽快！明日の活力100倍！！

八王子会館1階で第2,3,4金曜日午後7時半から9時までしています。初めての方も、再開したい方も、大歓迎です。お待ちしております。

(スポーツクラブ21 ヨーガクラブ)



祇園さんで子ども相撲奉納

7月2日(日)の暑い日の午後、青野町の八坂神社(通称祇園さん)においてシニアクラブの世話による恒例の子ども相撲の奉納をしました。当日は乳幼児から小学生の子ども達約30人と、保護者や参拝者約40人が集まり、参拝した後子ども相撲の奉納です。1人三番ずつ取り、続いて幼児園以下と小学生低学年による3人抜き、そして、高学年による5人抜きを行いました。

子どもたちは一番一番一生懸命です。勝ってはガッツポーズ、負けた人は次の手を考えているようでした。同体の一番ではその判定に対し鋭い目を行司に向けます。行司差し違いもありましたが、行司も真剣に取り組みました。

子ども相撲の奉納後、お供えの赤飯やお菓子、飲み物をいただきながら歓談し、終了しました。皆さんお疲れさまでした。



5人抜きの表彰(弓授与)

(青野シニアクラブ 繁田進作)

宇仁郷歴史資料館だより ③-15 近世の宇仁郷

(14) 青野原台地の新田開発

青野原北部(加東市高岡)の新田開発は享保の改革期に開発がなされるまで、幾度か開発が試みられたがその都度失敗に終わっている。その理由は、海拔90m前後の台地で用水の確保が困難であったためである。享保の改革とは八代将軍徳川吉宗が享保元年(1716)～延享2年(1746)の在職中に行った幕府の支配強化のための政治の総称であり、農村政策としては年貢の増加の為に新田開発が重点政策とされた。

享保8年(1723)幕府の新田検分の役人、千種清右衛門と伊沢弥惣兵衛が新田開発の適地を求め諸国を廻っており、播磨国にやってきた両名は幕府領であった青野原台地の新田開発(北・中・南部)を命じ、河高村の庄屋大久保六郎兵衛が北部の開発を願い出て許可された。

* 次号で青野原北部新田(高岡町)への用水路である任せ溝・天下溝の築造と、幕府の宇仁郷沿線集落への厳しい止水について述べる



加東市高岡の田園風景

開館日 第1・3日曜9時30分～12時